

**COVID-19 coagulopathy in pregnancy: Critical review, preliminary recommendations,  
and ISTH registry—Communication from the ISTH SSC for Women’s Health**

妊娠中のCOVID-19凝固障害：批評的レビュー、予備的勧告、ISTH登録事業

ISTH SSC for Women’s Healthからの報告

Kadir RA, Kobayashi T, Iba T, Erez O, Thachil J, Kazi S, Malinowski AK, Othman M.

J Thromb Haemost. 2020 :10.1111/jth.15072.

SARS-CoV2 を原因とする新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2020年10月30日現在、感染者数が全世界で4510万人、死者数は118万人に上り増加し続けている。しかし、中等度呼吸器症候群（MERS）や重症急性呼吸器症候群（SARS）のコロナウイルス感染症では、妊婦の重篤な罹患率や死亡率が高かったが、COVID-19感染症全体では一般の妊婦に比べて重症化していない。妊婦2567人を含む大規模なシステマティックレビューとメタアナリシスでは、7%が集中治療入院を必要とし、母体死亡率は1%以下、周産期死亡率は1%以下であった。また、妊娠中のCOVID-19凝固障害についての報告は非常に少なく、その管理については指針がないのが現状である。

本論文では以下を目的としている。1. 妊娠中のCOVID-19の治療成績に関する現在のエビデンスを検討する 2. 妊娠に関連した止血の問題点を明らかにする 3. COVID-19に罹患した妊婦の凝固障害に関する管理の指針となる推奨事項を提供する 4. 妊娠中および分娩後のCOVID-19感染女性における凝固障害の発生と影響を体系的に分析するための国際的な登録を導入することの4つである。

これは、国際血栓症学会（International Society on Thrombosis and Haemostasis; ISTH）の血栓症と止血における女性の健康問題に関する小委員会（Subcommittee for Women's Health Issues in Thrombosis and Hemostasis; WHITH）の査読、批評、承認を受けた専門家グループによる共同研究である。文献検索は、MEDLINE（1946年～2020年7月16日）、EMBASE（1947年～2020年7月16日）、EPUB Ahead of Print & Other Non-Indexed Citations（開始～2020年7月16日）を用いて行われた。MeSH termの用語をCOVID19, SARS COV, and coagulopathy, thrombosis, venous thromboembolism, coagulation disorders, and anticoagulationとして検索された。COVID-19感染症の非妊娠患者10名以上を対象としたランダム化対照試験、コホート研究、症例対照研究、またはケースシリーズが対象とされた。妊娠患者はデータが限られているため、10名未満のケースシリーズ、症例報告が含まれた。個々の研究のバイアスのリスクは、Newcastle-Ottawaスケール（NOS）を用いて評価された。

結果として、妊娠中の特定の止血障害が明らかになり、凝固障害または血栓性合併症を伴うCOVID-19に感染した妊婦ケアを支援するための予備的な推奨事項を提示した。また、妊娠中のCOVID-19および関連する凝固障害の管理をサポートするデータを収集

するための国際レジストリが確立された。

COVID-19に関連した妊娠中の凝固障害と血栓症の問題を扱った文献はいまだ少なく、COVID-19 感染妊婦における凝固障害を適切に管理するための高いエビデンスはない。その中で提供された本ガイドンスは、限られたエビデンスと専門家の意見に基づいており、COVID-19 感染妊婦のケアにおける一つの指標として参考にされたい。

(2020年10月 文責：評議員・幹事 二井 理文)

\*詳細は学会ホームページ内「新型コロナウイルス感染（COVID-19）妊婦の血液異常に関する情報」の「参考文献のご紹介：ISTH SSC for Women's Health からの報告 (J Thromb Haemost. 2020)」をご覧ください。